

ゼロシステム・下水道料金の『コスト削減革命』 ▲2,000万円以上の削減

ゼロシステムによる『コスト削減』

■ ゼロシステムとは？

- ・排水を浄化処理→自然環境(河川等)に放流
- ・年間下水道料金80%~90%削減(年間▲2,000万円以上可能)

■ コスト削減事例 (実績:広島県温浴施設G様~2017年6月システム導入)

'17年 7月(156万円)	} 6ヶ月計 1,009万円 ('18年1月~6月計約 930万円)
8月(185万円)	
9月(168万円)	
10月(158万円)	
11月(174万円)	
12月(171万円)	

大きなコスト削減が可能。
ただ... システム導入には **超難関・行政認可が必須**

ヴェルテックスジャパンだけが認可取得できる『理由』

■ 圧倒的な『実績』

- ・下水道行政折衝**25年** 全国約**250件**の認可取得実績

■ 圧倒的な『情報』

- ・あらゆる情報収集(下水道法、水質汚濁防止法 等法令情報 他行政関係)
- ・裁判事例 (最高裁判所での判例、地方裁判所での判例)
- ・通達情報 (国・県から地方行政への指導)~ 通常非公開

■ 圧倒的な『信念』

- ・ゼロシステムは ...
- ①**震災への備え**(下水処理場の集中処理から分散処理へ)という信念
- ②高額な下水道料金に苦しむお客様の『希望』であるという信念
- ③お客様からの『期待・信頼』に応えるという信念

ゼロシステムはソフト(認可)90% + ハード(処理装置)10%
ただ ... **ハードも重要**

超難関 行政認可取得が『絶対条件』

■ 認可取得までの事例 (広島県F市G様:下水道料金2,500万円)

◆ ゼロシステム 導入計画

- ①お客様施設からの排水浄化 → ②雨水管へ放流 → ③調整池経由
→ ④2級河川へ → ⑤1級河川に合流 → ⑥農業用地通過 → ⑦海域へ

◆ F市との交渉 ~ 7つの高すぎるハードル

- ①F市下水道課 ... 過去に同様の実績なし→認可できない
- ②F市建設局 ... 雨水管放流は豪雨時に支障の可能性→放流不可
- ③地元土地管理組合... 地元環境への影響懸念。理事6名全員計画反対
- ④県2級河川管理課 ... 放流水質による。難しいと思われる。
- ⑤国土交通省 ... 法令に従い厳しく水質を管理する必要あり。
- ⑥地元農業組合 ... 放流水が作物に悪影響懸念→計画反対
- ⑦漁業組合 ... 放流水の影響懸念→計画反対

7つの難関を6ヶ月かけていねいに説明 → 承認 → 『認可取得』

ゼロシステム『技術』は、(株)JR西日本テクシア開発協力による

■ JRの技術『J-TREAT』

- ・新幹線、通常車両の清掃排水(排水含有=油、薬品、鉄、泥、雨水等)処理
- ・『電気分解』+『高度ろ過』+『常時水質管理』により高度処理実施
- ・『J-TREAT』実績~JR西日本操車場にて14年間稼動

■ ゼロシステムのハード構成(水質、行政側規制により選択)

- ① **ゼロ1**=水質の常時監視システム
 - ・処理前、処理後の水質を常時監視 ・設定値による管理(遠隔監視)
- ② **ゼロ2**=自動切換えシステム
 - ・ゼロ1との連動システム ・三方向(自然環境、原水槽、下水道)切替
- ③ **ゼロ3**=電気分解&高度ろ過システム
 - ・あらゆる水質への対応可能 ・水質変動、水量変動にも対応可能